



岡田小学校 令和7年度 学校だより

1月7日発行

ふれあい

学校の様子→



ユニバーサルデザインって何だろう

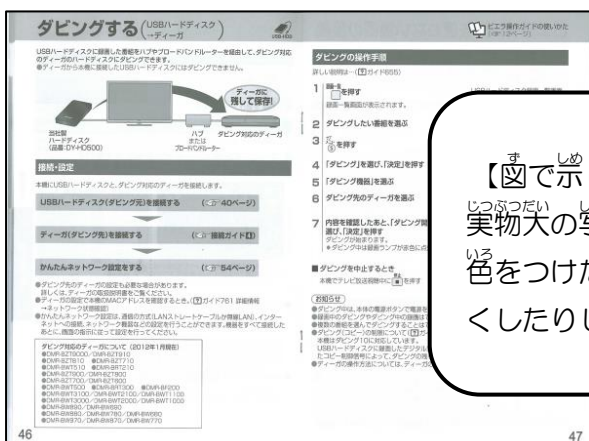
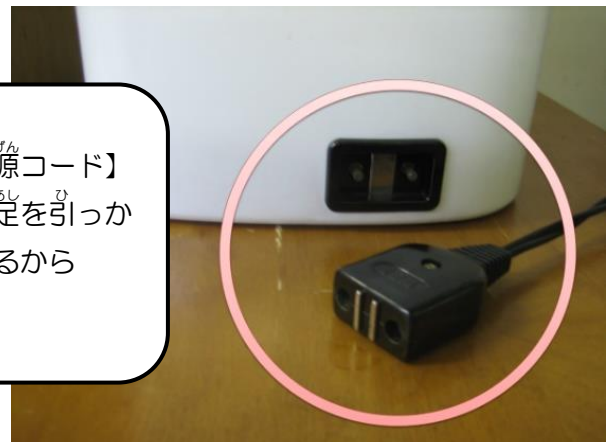
あけましておめでとうございます。2026年（令和8年）の干支は、丙午です。午年は、十二支の中でも、成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起がよいものとされています。人は誰でも、「自分を認めてもらった」と実感すると、自信をもつことができます。岡田小では、子どもが真ん中にある学校づくりを進める中で、これからも子どもの特性（よさ）を理解し、一人ひとりを大切にしていきます。

さて、皆さんは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことがありますか。ユニバーサルデザインとは、年齢・性別・文化の違い、障がいの有無によらず、誰にとってもやさしく、わかりやすく、使いやすいこと（もの）を指します。

下の電気ポットや取扱説明書は、何がやさしく、わかりやすく、使いやすいでしょうか。



【マグネット付電源コード】
うっかりコードに足を引っかけてもすぐに外れるから
安心・安全です。



【図で示した取扱説明書】
じつぶつだい実物大の写真を載せ、文字に色をつけたり、サイズを大きくしたりして見やすいです。



では、教育のユニバーサルデザインとは何でしょうか。全ての子どもにとって、「わかった！ できた！ うれしい！ 楽しい！」といった学びの充実感がある授業をつくるということです。そのためには、子どものつまずきを見極め、つまずきの原因となる不安感・負担感を軽減するための工夫が大切です。以下に、具体的な取組を紹介しします。

★★板書と机間指導の工夫★

- ・不必要な刺激を取り除き、黒板に注目しやすいシンプルな黒板にしています。
- ・注意書きやマーク、色チョークを使用して、注目させています。
- ・机間指導は、子ども一人ひとりと触れ合うチャンスと捉え、どの子にも言葉がけやサインを送り、学習意欲につなげています。



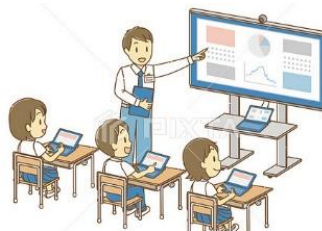
★★見通しがもてるように★★

- ・授業の流れを予告しています。
- ・指導は、子どもが集中できる短い時間で行うようにしています。
- ・子どもが学びたくなる課題を提示するようにしています。



★★★視覚的に示す★★★

- ・イラストや写真、視聴覚教材を有効に活用しています。



★★★★認め合う学級集団にする★★★★

- ・落ち着いて学習できる環境づくりに努めています。
- ・一人ひとりが活躍できる場をつくっています。
- ・個別的なかわりを多くして、触れ合いを大切にしています。
- ・間違いやわからなさを否定的に見ない学級集団にしています。
- ・教師がモデルを示しています。



★★★★★肯定的に評価する★★★★★

- ・できたことはしっかり評価をして褒めています。
- ・具体的、肯定的な言葉で指導しています。
- 「あと少しね」⇒「あと5分で終わります」
- 「ちゃんと掃除して」⇒「廊下の隅まで拭きます」
- 「～が終わるとたくさん遊べるよ」
- ・追い詰めた質問をせず、してほしい行動を伝えていきます。



このように、教育のユニバーサルデザインは、障がいのある子どもにとっては、「なくて困る支援」であり、障がいのない子どもにとっては、「あると便利な支援」となります。どの子も「わかる・できる」授業を考えることは、子どもも教師も目が輝いている授業となり、一人ひとりの学びの充実感につながるものです。